

第3次広島市環境基本計画（骨子案）に対する環境審議会委員の意見と本市の回答

該当箇所		委員意見	本市回答
本計画の基本的事項	計画の位置付け	この資料を一般公開する場合には、「部門計画」や「中長期的な指針」についての用語の説明が必要ではないか。	御意見を踏まえ、市民に分かりやすくするために、本資料を公開する際、用語等に関する補足資料を添付します。
		「 <u>考慮すべき環境に関する</u> ・・・」の記載は「考慮すべき」の部分が、次の文字の環境にかかるともとれるので、「・・・考慮すべき、 <u>環境に関する</u> ・・・」、又は「・・・ <u>考慮すべき環境分野</u> に関する・・・」とした方が良いのではないか。 また全般的に記載の文章が硬いので、市民向けの感じがしない。	「考慮すべき」は、「環境に関する中長期的な視点」全体にかかるものですが、「考慮すべき」の後ろに読点を入れると「考慮すべき」と「環境に関する」とが並列になって「視点」にかかるともとられるので、原案のとおりとしました。 また、素案の作成時において、表現が分かりやすいものとなるよう努めます。
	計画期間	西暦年を併記した方が良いのではないか。	御意見のとおり、西暦年を併記しました。
計画の体系	計画の対象（環境区分）	「自然環境」に農地も加えてはどうか。（水、緑、 <u>農地</u> 、生物等）。	本計画で表す「緑」の中には、「農地」を含んでいます。
	基本目標	「地球環境の保全への貢献」の副題について、「低炭素」という表現は国際社会、日本国政府において長期的な「脱炭素」に置き換わっている。副題を何とか脱炭素を用いたものにできないか。 例：長期的な脱炭素転換を目指して	脱炭素を目指していくことについては、計画の本文に記載することを検討したいと考えています。

	<b>総合的・横断的 視点</b>	SDGsの17のパートナーシップを関連づけるのであれば、「市民との協働」といった視点を取り入れるべきである。広域的な視点に偏っているのではないか。	「市民、事業者との協働」は重要だと考えており、「総合的・横断的視点」の中の「人材等の基盤確保及び協働の視点」に含んでいます。
	<b>施策の方針</b>	「自然環境の保全」に「農地の保全」を追加してはどうか。	「緑の保全」の中に「農地の保全」を含んでいます。
		「生物多様性の確保」は「の保全」がよいのではないか。	生物の多様性を保護して守るという「保全」に加え、生物の生息・生育環境の確保や外来種対策などといった取組を推進し、生物多様性に及ぼす影響が回避され又は最小となり、自然資源を将来にわたって享受できるようにしていくことから、「確保」としています。
		施策の方針に「地球温暖化対策の推進」とあり、これに「緩和」と「適応」は含まれているが、「緩和」と「適応」が含まれていることを分かりやすく表題で明示したらどうか。	御意見を踏まえ、「地球温暖化対策（緩和策と適応策）の推進」に修正しました。
	<b>地球環境の保全 への貢献</b>	<p>「地球温暖化対策の推進」について、気候変動の一つの現象が温暖化であり、「地球温暖化による気候変動」では違和感がある。</p> <p>例えば、「地球温暖化に伴い常態化しつつある異常気象への対応（適応策）を推進する」という書き方など工夫する必要があるのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、文章の後段（「気候変動と・・・」以降）を次のとおり修正しました。</p> <p>「～、気候変動とその影響に対する市民の認識・理解の向上、風水害や土砂災害、熱中症等のリスクに対する対応力の向上など、気候変動への適応（適応策）を推進する。」</p> <p>なお、「地球温暖化に伴い常態化しつつある異常気象への対応（適応策）を推進する」という書き方についての工夫は、第6次広島市基本計画との整合も踏まえ、計画の本文に記載することを検討したいと考えています。</p>

		<p>長期を展望した脱炭素化に向けての 戦略的取組が求められている。</p> <p>計画は5年間であるが、この長期戦略の策定・推進をこの5年間にどう位置づけるのかがポイントと思われるが、広島市としてどう進めていくのか、この計画に記述すべきではないか。</p>	<p>長期を展望した脱炭素化に向けての考え方は、計画の本文に記載することを検討したいと考えています。</p>
	<b>総合的・横断的 視点</b>	<p>「5 広域的な連携協等の視点」について、パートナーシップの推進として「市民・事業者・行政による協働体制の構築について」と記述されている。また、SDGs 17とリンクしていると示されている、自治体のパートナーシップとしての最重要なのが、市民、事業者等の参加であり、協働なのではないかと考える。国際社会と公的主体との協働のみを掲げることは、官主体で進めていくとの印象を強くさせている。</p>	<p>「市民、事業者との協働」は重要だと考えており、2ページの「総合的・横断的視点」の「3 人材等の基盤確保及び協働の視点」において記載しています。</p>

<p>SDGsについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「自然環境の保全」にSDGsの3（すべての人に健康と福祉を）を追加してはどうか。</li> <li>・ 「都市環境の創造」の「2 自然と調和した美しく品のある都市景観の創出」にSDGsの16（平和と公正をすべての人に）を追加してはどうか。</li> <li>・ 「都市環境の創造」の「4 まちづくりにおける環境の保全等についての配慮」にSDGsの7（エネルギーをみんなに、そしてクリーンに）を追加してはどうか。</li> <li>・ 「生活環境の保全」の「2 水環境・土壌環境の保全」にSDGsの15（陸の豊かさも守ろう）も追加してはどうか。</li> <li>・ 「豊かな自然環境の保全～自然との共生～」の施策方針において、生態系サービスのことを考慮し、「11. 住み続けられるまちづくりを」を追加してはどうか。</li> </ul>	<p>SDGsは17のゴールと各ゴールに設定されている169のターゲットがあります。御提案いただいたゴールについては、そのゴールに設定されているターゲットと本計画の施策の方針内容との関連性が低いことなどにより、骨子案については原案のとおりとします。</p> <p>なお、素案の作成段階で、再度、計画内容とSDGsの関連性について整理することとしています。</p>
<p>その他全般</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルスが感染拡大し、現在では日常生活に支障をきたしている。仮に現在の新型コロナウイルス感染が収束したとしても、今後感染拡大が再発あるいは別種のウイルス感染が出現する恐れがあることから、「生活環境」の施策の方針及び「環境を取り巻く様々な課題」にウイルス感染についての項目を追加し、SDGsとの関連性を検討してはどうか。</li> <li>・ 今回の新型コロナウイルス感染拡大は、本計画に影響はないのか。今、私たちの日々の暮らしは大きく変化しているが、「環境を取り巻く様々な課題」にウイルスの問題は含まれるのか。</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染症等の市民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある感染症につきましては、「広島市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき対策等を行っています。</p> <p>なお、感染症対策については、計画の本文に記載することを検討したいと考えています。</p>

	<p>前回の審議会では、『夏季の高温（熱波）や台風の規模拡大による災害が、地球気候変動の影響として近年、<b>急速に顕在化していることが</b>』が議論され、環境サイドからもこれと関連した施策の実施の必要性が指摘された。</p> <p>これを受けて、強靱（レジリエント）な都市の構築に向けての新たな視点が必要となっている。この部分を追加する項目として検討すべきであり、『環境を取り巻く様々な課題』に新規又は拡充として整理したらどうか。</p>	<p>強靱な都市の構築に向けての新たな視点については、素案の作成段階で、「環境を取り巻く様々な課題」の「気候変動」、「総合的・横断的視点」の「危機管理等の視点」、「施策の方針」の「地球温暖化対策の推進」において、記載することを検討したいと考えています。</p>
--	---	--